

足立区長賞

「税の大切さ」

足立区立 伊興中学校

三年 齊田 好華

税金という言葉を聞くと、なぜか難しいものという先入観を持ってしまいます。もちろん物を購入する時に消費税を支払っているし、消費税を含む税金が元となり、私たちの生活がとても便利なものになっているということもある程度分かってきました。税金について調べてみた時、税金は「みんなで社会を支える会費のようなもの」という説明を見つけました。会費という言葉から、私は町内会を想像しました。我が家の所属する町内会は比較的大きくて、活動も活発なようです。母が数年前に班長をしていたので、いろいろ話を聞いていました。一年に一度町会費から回収する会費によって基本的な活動は賄われているそうです。それに加え、月に一度行われる廃品回収による収益も、大きな財源になっていると聞きました。町会はいくつかの部に分かれていて、月に一度は会議があり、それぞれの活動を報告し合ったり、問題点や改善点を議論したりもするようです。町会員にとってどんな利益があるかという点、例えばゴミがカラスに荒らされないようにするコンテナのよなものを買いそろえてくれたり、各部が企画するイベントに参加できたり、いざという時に助け合えるつながりを持てたりということです。私も小学生の時は夏休みのラジオ体操

に参加したりしていましたし、町会が開いてくれる盆踊り大会は、今でも一年に一度の楽しみとなっています。その中で来場した子供全員にお菓子を配ったりもしています。でもこれらのことは中学生になってから知ったことです。親が払っている町会費や親が町会の活動に参加することによって、知らず知らずのうちに様々な恩恵を受けているんだということに気づかされました。これを発展させて考えてみると、規模は全く違うけれど、町会と会費の仕組みは、社会と税金の仕組みにつながっているなと思うようになりました。私たちは誰かによって支払われている税金によって、より良く生活することができています。感謝しなければならぬことだし、未成年である自分はまだできることは少ないけど、大人になって、社会の構成員の一人として、やるべきことが見えてきたような気がします。そして町会の話で深刻な問題は、高齢化によって会員が減る未来が待っているということだそうです。会員が減ってしまうえば財源も減り、地球が潤うということも段々なくなっていくてしまうかもしれません。それは少子高齢化が叫ばれている日本全体としても、真剣に考えなければならぬ問題なんだと改めて考えさせられました。みんなが生活の質を向上させられる社会。その実現のためにはやはり税金が重要であると思います。まだまだ知らないことは山ほどありますが、これからも税金について積極的に興味をもっていこうと思っています。